

# セミナー「低炭素社会形成に向けて“CO<sub>2</sub>と向き合って地球に笑顔を”」

主催 化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会  
協賛 石油学会中四国支部、廃棄物学会中四国支部  
後援 中国経済産業局、(社)中国地域ニュービジネス協議会

「京都議定書」決議内容を具体的に推進するために、国内排出量取引の試行的実施が決定されました。これに伴って「国内クレジット制度」「カーボンオフセット」「カーボンフットプリント」等の対応が求められますが、その仕組みは複雑でわかりにくいものです。そこで、CO<sub>2</sub>とまじめに向き合う人の実務に対応できるように、対応事例や有望な対策技術の紹介を交えながら、これらを易しく解説します。

開催日時：平成 21 年 10 月 2 日（金）9:40～19:00

開催場所：大竹商工会議所（広島県大竹市油見 3-18-11、TEL:0827-52-3105、JR 大竹駅から徒歩 5 分）

<b>プログラム</b>	
主催者挨拶	(9:40～9:50)
<b>[講演]</b>	(9:50～17:00)
1. 省エネ法改正への対応と CO <sub>2</sub> 排出量取引制度の活用方法(9:50～10:50)	(株)グリーンテクノロジー 森下 兼年 氏 平成 22 年 4 月から省エネ法が改正され、指定基準が工場・事業所単位から企業単位になるため、平成 21 年 4 月から 1 年間のエネルギー使用量の集計が必要となります。本講演では、今回の主な改正のポイントとエネルギー使用量の把握方法、指定を受けた場合の対応について説明します。また、昨年度からスタートした国内クレジット制度やその他の国内 CO <sub>2</sub> 排出量取引制度について、その仕組みと活用方法について解説します。
2. 助成制度を活用した省エネ成功事例とバイオマス、地中熱エネルギー活用について(10:50～11:50)	豊国工業(株) 佐々木 剛 氏 補助事業を活用し実施した、大型ショッピングセンターでの ESCO 事業や、医療法人での CO <sub>2</sub> 削減事業で大企業（東京電力や三井住友銀行）に CO <sub>2</sub> を販売した国内クレジット事業の事例を紹介いたします。また、林野庁の補助事業を活用したバイオマスボイラ導入事業や伏流水利用の地中熱空調設備等の導入事例も紹介いたします。
<b>[昼食]</b>	(11:50～12:50)
3. 低炭素社会に向けた企業の取組みについて—国内制度の整理と今後(12:50～13:30)	日本品質保証機構 野村 祐吾 氏 京都議定書第一約束期間に突入し、目標を達成すべく CO <sub>2</sub> 削減に資する様々な国内制度が動き出す中、一方ではポスト京都の枠組みを睨みつつ低炭素社会形成に向けた取組みも活発になってきております。本講演では、企業が低炭素社会に向けて取り組むために、現状どのような国内制度があるか、また、今後どのように対応していくことができるかについて、第三者検証機関としての視点を交えて解説します。
<b>[休憩]</b>	(13:30～13:40)
4. 対策技術 (13:40～17:10)	低炭素社会に貢献する企業には、CO <sub>2</sub> 排出を抑制する具体的な対策が不可欠です。ここからは CO <sub>2</sub> 排出抑制対策として有望な技術を紹介いたします。
(1) 太陽光発電システム市場の動向と新日本石油の取り組み(13:40～14:10)	新日本石油(株) 高江洲 昇 氏 地球温暖化対策が叫ばれる中、太陽光発電は再生可能エネルギーの代表格として期待が大きく、欧州各国を中心に積極的な普及政策が打ち出され、普及が進んでいます。一方、日本においても、一旦は、住宅用補助金の打ち切りなどが影響し、2008 年には第 6 位の市場に転落しましたが、今年より住宅用補助金の復活、スクールニューディール等の政策が追い風となり、再び普及拡大の兆しが見られつつあります。本報告では、太陽光発電の市場、見直しについてまとめ、当社の取り組みについて紹介いたします。
(2) ディーゼル燃焼排出ガス浄化に優れた中空三次元構造シングルナノ粒子 NO <sub>x</sub> 触媒(14:10～14:40)	マツダ(株) 高見 明秀 氏 環境保護のためエミッション規制が厳しくなる中、CO <sub>2</sub> 排出量低減効果の大きなディーゼル車を将来も市場に導入していくためには、触媒性能と耐久性に優れた NO <sub>x</sub> 浄化触媒が期待されています。そこで、NEDO の補助事業を通じて、この触媒製造に用いるセラミックスの超微細化を検討し、中空で三次元構造を持つシングルナノサイズ粒子を適応した世界的にも新しい高性能触媒技術を開発するに至りました。本講演では、その技術について報告いたします。
<b>[休憩]</b>	(14:40～14:50)
(3) 遮熱塗料用太陽光高反射顔料のご紹介(14:50～15:20)	戸田工業(株) 真田 和俊 氏 家庭部門の CO <sub>2</sub> 排出量は増加傾向にあります。遮熱塗料は、屋根や壁面へ塗装することで太陽光中の赤外線を反射し蓄熱を抑制することが期待されます。本講演では、遮熱塗料の赤外線反射性能を左右する反射顔料について概要を紹介いたします。なお、本技術は環境省の環境技術実証モデル事業ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）ワーキンググループで検証検討中となっています。
(4) 低炭素社会構築を目指した新しい高分子ポリマー開発技術の紹介(15:20～15:50)	インターセプト(株) 斉藤 健次 氏 環境省の実施したヒートアイランド対策技術分野での環境技術実証事業において、今年度に認証された「液体カーテン ES（エコシールド）」を研究開発したインターセプト株式会社では、多種多様な低炭素社会に貢献する機能性高分子ポリマーの薬剤研究開発に取り組んでいます。本講演では、そうした機能性高分子ポリマーの薬剤新技術について紹介いたします。
<b>[休憩]</b>	(15:50～16:00)
(5) 環境目標実現への省 CO <sub>2</sub> ソリューション(16:00～16:30)	(株)山武7 <sup>th</sup> バーストオートメーションカンパニー 赤堀好昭 氏、鈴木 康央 氏 "省エネ推進を実施するためのソリューションをご紹介します。 ・ エネルギー使用の状況を「見える化」し、どこに無駄があるかを明らかにし、その対策を立てるための「エネルギー管理システム」(EneSCOPE) ・ 複数機器から構成される熱源システムの省エネ改善に大きな効果をだす「最適化連携制御システム」(U-OPT) ・ 生産に必要な圧縮空気を、適切に供給し、最適な省エネルギー運転を行う「エアー省エネ制御システム」(ENEOPTaircomp)
(6) 塔垂直分割型連続蒸留システムの工業化(16:30～17:00)	住重プラントエンジニアリング(株) 阿部 匡悦 氏 「塔垂直分割型蒸留システム」は、Petlyuk が提案した「フロー集約型蒸留システム」を基本原理とした省エネルギー蒸留方式です。現在、当社は新蒸留システム「カラムインカラム®」の商品名で販売しており、国内外で既に 22 装置が順調に稼働中しています。本講演では、蒸留の省エネルギー化を担う技術として期待されている「塔垂直分割型蒸留システム」について紹介いたします。
<b>[交流会]</b>	(17:15～19:00)

定員 100 名

参加費（消費税込み）：セミナー 4,000 円（昼食の弁当代を含む）、交流会 3,000 円

申込方法：参加者氏名、勤務先、所属、連絡先（住所、電話、FAX）、送金予定日、交流会参加／不参加を明記し、電子メールまたは FAX でお申込み下さい。参加費は、現金書留または銀行振込（もみじ銀行西条支店普通預金 1058275 中国地区化学工学懇話会）をご利用下さい。

申込締切：平成 21 年 9 月 25 日（金）

申込先：〒739-8527 東広島市鏡山 1-4-1（広島大学大学院工学研究科化学工学講座内） 中国地区化学工学懇話会事務局  
TEL (082)424-7718、FAX (082)424-5494、E-mail ysasa@hiroshima-u.ac.jp